

田辺市中辺路町の世界遺産を活かしたまちづくり

NPO 囲炉裏 代表 倉尾 弘大

1. 活動方針と目的

ふれあいと交流を深めながら、心の温まる魅力ある地域社会づくりをめざして、時代のニーズにあった、ユニークでキラリと光るふるさと活動を推進する事を目的とする。

2. 活動内容

基本的には、なんでも良し。上記キラリと光るふるさと活動を推進する事を目的とする。に照らして活動内容を決定する。

これまでの、高原集落の未来づくり事業・・・そば打ち、緑の植樹事業
世界遺産関連事業・・・知事と子どもたちのウォーク、歌碑の建立世界遺産奉告祭、
熊野山神祭り、古道奉仕活動
その他・・・愛鳥週間巣箱作り、地域づくり講演会、
市長とのまちづくり懇談会など
これからは・・・文化保存事業、行政と協働でシーニック日本風景街道事業

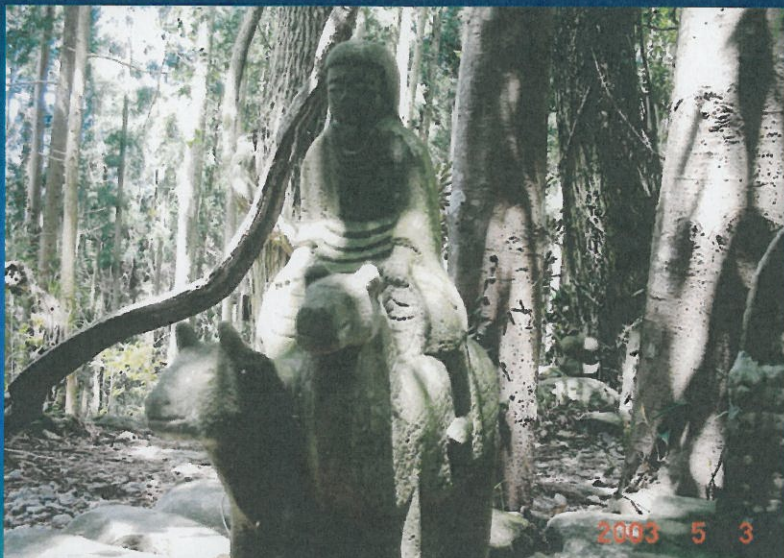
3. 今後の課題

私たちのグループは、法人組織はとっておりません。なぜなら、活動を縛られたくないという思いからであります。会員はほとんどひとつの仕事を終え、遊び心で地域づくりをしようとするもので、気ままに任せているからであります。いま全国各地で官民協働という言葉がおどりと、法人・非法人を問わず、ここ数年でも民の組織が増え、団塊世代の退職時期を迎え今後増える傾向だと思われれます。このことは、住民が立ち上がったという意味では、大きな意義があると考えます。しかし、ひとつ心配なのは、行政の枠に組み込まれ、悪くいえば、組織が利用されるのでは、という心配です。

本当の官民協働のあるべき姿とは、民の企画に、行の感覚を入れ、共に議論を重ねながら、あくまでも民主導の地域づくりが必要であると願うからであります。少し偏見かもしれませんが、殆どの行政マンは、従来のシステムから抜け出せず、どうしても行の主導をめざす傾向にあるのではないのでしょうか？

地域づくりの原点は、地域に住んでいるものが、頑張らなければどうしようもないという結論に達します。すでに過去の地方行政・地方自治体を見てみたとき、従来型では、その結果はすでに明らかにされ、その結果から官民協働という言葉が生まれ、特に各自治体の財政事情もあるわけですから、行政は出来るだけスリムにして、地域住民があまり要望しないことには、手を出さないことがいいのかも知れません。私たちNPO囲炉裏の活動は、あくまでも自主的で、民の力では出来ない部分を援助していただき、出来るだけ地域住民の願いを実現する方向で、やっていきたいと思っています。継続は力なり・・・遊び心で今後とも、地域づくりに貢献できたらと思っています。

田辺市中辺路町の 世界遺産を活かしたまちづくり



NPO 囲炉裏 代表 倉尾 弘大

NPO 囲炉裏って何・・・

- キラリと光る心温まる事業をめざして設立した地域づくりグループです。
- 設立日 平成16年2月1日
- 会員 35名



めざすは
囲炉裏のように心温かい活動を！

祈りの心通じた

- 平成16年7月1日(中国蘇州で世界遺産登録決定)
- 熊野の神に奉告祭とちょうちん行列



奉告祭



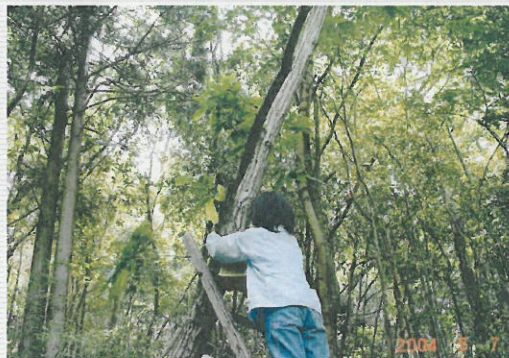
ちょうちん行列

愛鳥週間に子ども達と巣箱作り

山中で紀州材を使って

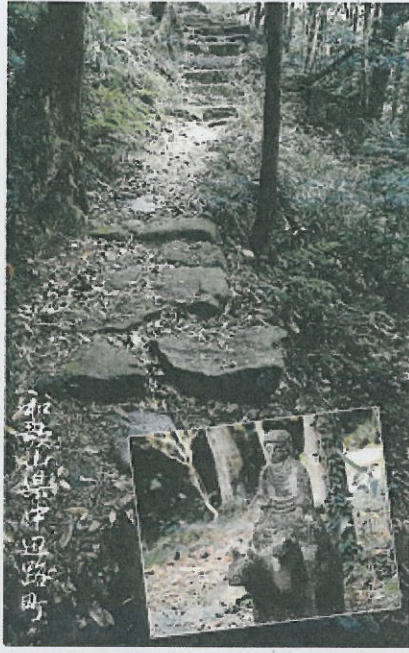


小学4, 5年生で取り付け



未来を歩こう...

世界遺産登録祈念



県内の子ども達 新緑の熊野古道をウォーキング



和歌山大学の学生にサポート協力をしていただき、外国人も交じって交流会

金沢大学学生と緑の雇用で意見交換



地元の緑の雇用者と「番茶すすって交流会」を開催し、悩みや課題を話し合う。

新しい観光まちづくり推進地域支援事業に立候補する。(和歌山県)



「魅力ある高原」皆で考えよう！

自然と共に生きる



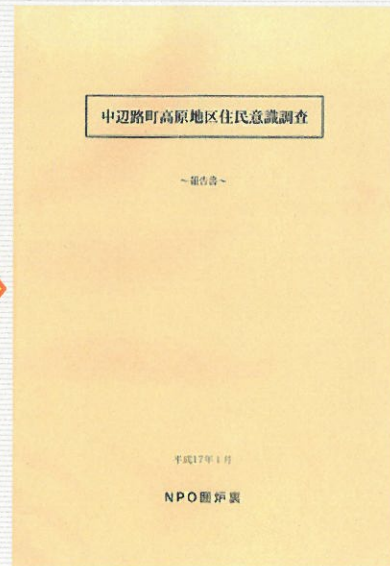
高原の見所など歩いて資料収集



地域の観光マップ作成

高原区民の意識調査

- ① 住みやすさは
- ② 自慢は
- ③ 不安は
- ④ 期待する将来のふるさと像は
- ⑤ 資源の活用
- ⑥ 霧の里を活かすには
- ⑦ 地元の料理や食文化

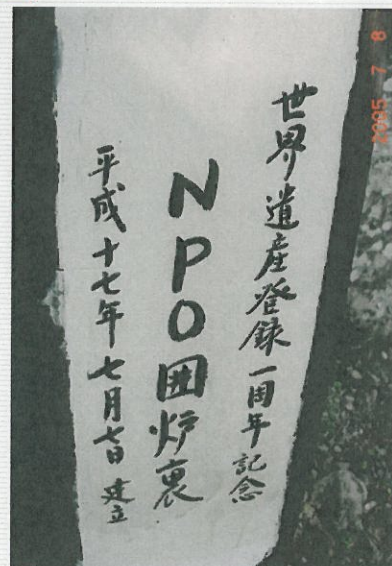


地域のブランドづくりに挑戦



みたびぐり
三度栗のさし木の穂づくり

世界遺産一周年記念行事



たきじりおうじ
滝尻王子に困炉裏で歌碑建立



新春夢語らん会



会員及び各種団体・個人が新しい年の夢を語る

新市づくりの夢を語る

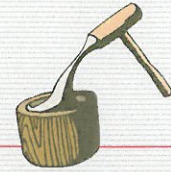


熱っぽく語る
まなご
真砂田辺市長



田辺市長を迎え、会員及び各種団体から民の思いを官に伝えた

会員の交流会



もちつき体験



熊野の食づくり

体験観光事業(県委託) 滞在型観光の推進



モニターツアーの参加者がそば打ちに挑戦！

清姫太鼓も歓迎のおもてなし



東京から谷川先生を招き、カズラと木を組み合わせたカゴ作り



地域を支える青年達

植樹で景観づくり(緑の募金事業)



実のなる木のトンネル計画事業



参加した会員の喜びの顔

今年の事業予定

- 古老より昔歌の伝承保存活動
- 世界遺産「文化的景観」の推進
- 熊野の食文化の推進とブランドづくり



99歳古老の森本氏



熊野の食文化の推進

日本風景街道で行政と協働？ (道と未知を遊歩道で結ぶ)



中世側



近世側

中世と近世の熊野みちを遊歩道で結ぶ

今後の活動課題



- 民の力には限界がある
- 効率をあげる官民協働の姿とは？
- 会員の高齢化と、会員不足
- リーダーの養成

牛馬童子像

継続は力なり！

**ゆっくり、ゆっくり
地域づくりの推進を！**



背伸びをせずに、初期の目的、キラリと光る
心温まる事業を今後も続けよう！